

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここふくプラス（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		～ 令和 8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動スペース・学習スペースのほかに個室が2室あり、集団や個別の空間を提供している。 個人のスケジュールを準備し、視覚的に分かりやすく伝えることで、子どもが自分で次の行動を予測しやすい環境を作っている。	その場所が何をする場所なのかを明確にし、不安や混乱を減らすようにしている。 「目で見てわかる形」で伝えることにより、自分で予定を確認し、先を予測できるように支援している。	特性に合わせた環境作りをすることで本来持っている力を発揮できるようにする。
2	作業療法士・保育士等の専門職を配置して療育・支援を行っている。	一人ひとりのアセスメントを専門職の視点、日々のミーティングにおいて職員全員で必要な支援内容を共有している。 また、支援プログラムが固定化しないように見直しと変更を行っている。	アセスメントで得意・不得意を確認し、強みをいかした支援を行うとともに、自信がもてるプログラムを検討していく。 「できたらほめる」を大切に取組む。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の中で子ども達と交流する活動が提供できていない。	立地場所・土地・建物の状況などから考えて、多数の人が集まれる交流場所として困難な状況。	交流可能な機関の情報をもとに検討する。
2	各マニュアルを作成し訓練は行っているが、保護者への周知が行き届いていない。	避難訓練・感染予防対策訓練を実施しているが、保護者への説明が不十分。	利用契約時に説明し、HPへの掲載や広報誌で報告する。 また、そのほかの周知の方法について検討していく。
3	家族に対しての家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）が実施できていない。	ペアレントトレーニングに関する技術が職員に不足している。	保護者研修は実施しているため、講師を招いて研修を実施することから始める。